

- I 第68回総会及び第75回京都大学大会報告
- II 来年度(一橋大学)大会について
- III 委員会・ワーキンググループ活動報告
- IV 募集告知
- V 役員選挙について
- VI その他

I 日本哲学会第66回総会及び第73回京都大学大会報告

2016年5月14日(土)、15日(日)の両日、本学会第68回総会及び第75回大会が京都大学において開催されました。延べ400名を超える方にご参加いただきました。

総会報告 及び 議決事項

①一般報告

2015年度日本哲学会事業報告は、既に配布した報告の記載通りに承認されました。

②会計報告

2015年度日本哲学会会計報告は、既に配布した報告の記載通りに承認されました。

2016年度日本哲学会予算は、既に配布した報告の記載通りに承認されました。

③各委員会報告

・国際交流委員会：河野哲也委員長から、日中哲学フォーラムを2017年度に立命館大学で開催すること、欧文誌と連動させてインターナショナルセッションを開催すること、日本哲学会として世界哲学会の開催母体への立候補について検討中であることが報告されました。

・編集委員会報告：中畑正志編集委員長から機関誌『哲学』の掲載状況、若手奨励賞の審査、林基金若手助成の審査、大会発表の事前審査について報告がなされました。また、編集委員会の規定および体制の変更、公募要領の改定について説明がなされました。

・林基金運営委員会：大橋容一郎委員長から林基金若手助成の状況、林基金出版助成を植村玄輝氏の論文に対して行うことが報告されました。

④学会規定改正について

林基金運営委員長の大橋理事より規定改定案の説明と提案がなされ、原案通り承認されました。

⑤大会時会場費徴収廃止について

大河内事務局長より事務局負担の軽減および現金移送の不安という理由によるものとして説明がなされた。会場からは振込手数料を事務局負担とする振込用紙の導入を検討して欲しいとの意見が上がり、改めて検討すると回答がなされました。

⑥2015年度若手奨励賞表彰式

中畑編集委員長より選考過程の説明があり、加藤会長から賞状及び副賞が授与されました。

受賞者・受賞論文

秋保 亘氏「スピノザ『エチカ』における個物の本質——第二部定義二を中心に」

II 次年度大会 第69回総会及び第76回大会

開催場所：一橋大学
日時：2017年5月20日(土)・21日(日)
(前日19日(金)夕方 哲学教育ワークショップ)

学会企画

<大会シンポジウム>

「哲学史研究の哲学的意義とはなにか？」

提題者：松田克進(広島修道大学)
植村玄輝(岡山大学社会文化科学研究科)
納富信留(東京大学)
司会者：井頭昌彦(一橋大学)
田中美紀子(神戸女子大学)

<学協会シンポジウム>

「宗教と哲学」

提題者：深澤英隆(一橋大学)
末木文美士(国際日本文化研究センター)
司会者：酒井潔(学習院大学)

<インターナショナルセッション>

「哲学と翻訳」

提題者：未定
司会者：未定

<哲学教育ワークショップ>

<男女共同参画・若手研究者支援ワークショップ>
上記については詳細が決まり次第HPで公開します。

公募企画

<一般研究発表> 5月20日(土)、21日(日)
<公募ワークショップ> 5月21日(日)

★一般研究発表及び
公募ワークショップを募集します★

詳細については学会ホームページ
をご覧ください。なお、使用言語は、
日本語のほか、英語、独語、仏語
も受け付けます。

応募締切：2016年11月11日(金)
※ファイル当日必着、
印刷物は当日消印有効

奮ってご応募ください。

※第69回総会は5月20日(土)、評議員会は5月20日
(土)、理事会は5月21日(日)開催予定

III 委員会・ワーキンググループ活動報告

◇編集委員会 (委員長 中畑正志)

・2016年度の『哲学』応募論文の査読を行っています。また、欧文誌 *Tetsugaku* の発刊準備も進めています。

◇大会企画委員会 (委員長 榊原哲也)

・2017年5月に一橋大学において開催される第76回大会のシンポジウムおよび学協会シンポジウムのテーマ、提題者、司会者を決定し、理事会において承認を得るとともに、該当者から内諾を得ました。

◇林基金運営委員会 (委員長 大橋容一郎)

・『哲学』67号に採用された応募論文の中で、条件に該当する以下の4名に、第5回林基金若手研究者研究助成を行いました。(八幡さくら氏 秋保亘氏 縣由衣子氏 大厩涼氏)
・第1回林基金出版助成は、植村玄輝氏に決定いたしました。

◇国際交流委員会 (委員長 河野哲也)

・来年度大会、インターナショナルセッションは、欧文誌にあわせて「哲学と翻訳」というテーマで行います。
・第5回日中哲学フォーラムは、来年2017年9月9日～10日に立命館大学にて行われることになりました。
ネット上で発表者を募集し、7月末に締め切りました。
・次回2018年北京世界哲学会では、日本哲学会主催のシンポジウムを開催する予定です。
・次次回以降、世界哲学会大会を日本で開催する可能性について引き続き検討中です。

◇哲学教育WG (座長 直江清隆)

- ・2016年5月京都大学大会における哲学教育ワークショップ「哲学対話とクリティカルシンキング」の企画実行を行いました。
- ・今後Facebookなどによる情報発信を充実させていきます。

◇男女共同参画・若手研究者支援WG (座長 和泉ちえ)

- ・今年度WG会合を2回開催し(4月10日・6月18日)、基本方針の確認と諸実践の具体的計画に関して議論を積み重ねています。

また、第75回大会(京大)において本WG主催のWS「哲学と導入教育——哲学教育の質的向上を目指して」を開催しました。参加者は100名を超え、継続的企画展開を望む声も多々ある反面、否定的な見解も一部間接的に看取されました。しかし、いずれにせよ、この問題に関して、学会として取り組む姿勢が肝要であることが再確認されました。さらに大会終了直後に、哲学女子会が開催されました。参加者は女子に限定されず20名ほどが集い、有意義な交流の場になりました。このような会合の開催が、ある程度ハラスメントの抑止にもなっている、との声も寄せられました。

- ・今年度秋から冬にかけて、常勤および非常勤の女性教員のポスト数をはじめ、関連するアンケート調査を以下の要領で実施する予定です。

日本哲学会男女共同参画・若手研究者支援ワーキンググループから皆様へのお願い

当ワーキンググループでは、本年度の秋から冬にかけて、男女共同参画と若手研究者支援に関するアンケート調査を行います。回答の方法や期限など詳細は追ってご連絡いたしますが、調査実施の際には、なるべく多くの皆様方からご意見をいただきたく存じます。ご協力のほどなにとぞよろしくお願いいたします。

IV 役員選挙について

来年度の役員改選に伴い、評議員選挙を実施します。「選挙公示」「被選挙人名簿」「評議員選挙投票用紙」「郵送封筒(料金着払い)」を10月上旬頃郵送いたしますので、ご確認いただき、**ぜひ積極的な投票をお願いいたします。**投票締め切りは10月31日(消印有効)です。評議員は選挙開票後、理事会にて承認・決定され、その中から理事と会計監査の選出を行います。



